

井上わたると

27歳

無所属



新しい和光をつくる会 第3号

～ 配る ホームページ ～

あなたは 15501 番目の読者です。

前号までにお届けした枚数です。

サラリーマンから和光で「政治」に挑戦!!

昨秋、会社を辞めました!

和光をもっと知るために
和光の政治をもっと学ぶために
そして 駅でまちで
皆様とお会いするために。

「阪神・淡路大震災」体験記

なぜ 政治家を志すのか?

「防災」に関する政策



「阪神・淡路大震災」体験記

なぜ 政治家を志すのか?

「防災」に関する政策

この震災の直後、政府の初動対応の遅さ、自治体の防災政策の甘さが指摘されました。現地で救助や支援を待っていた私たちは、国や行政に対して「なんで私たちを守ってくれないのだろうか?」という思いで溢れていました。

それから私は「人の暮らし・命を守るために政治はある」と考えるようになりました。いつか政治家として人の役に立ちたい—これが私の政治家を志した原点です。

和光市は親戚が住んでいるので、昔から縁のある街でした。そして幾度かの引越を通して私自身がずっと住み続けたい街として考えたのが、和光市です。「自分が暮らし続けたいと思う街で、政治家としての活動を通して人の役に立ちたい」その誓いを胸に活動しています。

私は原点を忘れず、和光市に住む皆さまの暮らし・命を守るための政治を目指します。

「もし私が政治家だったら和光の防災政策をこうしていきたい」という内容をお話しします。

被害状況

想定される課題

政策



修復が進まず、2次災害として事故が発生する。

※阪神大震災では、この事が原因で私たちの知人が亡くなっています。



高齢者・体の不自由な方が支援を受けにくい。

- ・ 救援の情報が入りにくい
 - ・ 水や物資が重くて運べない
 - ・ 避難所が遠い
- などの問題が発生



飲料水の外、トイレなど生活用水の確保が困難となる。

※阪神大震災では、簡易トイレやカセットコンロ、食器洗いが不要になるラップが重宝されました。

● 市の道路計画策定に、現在の利便性・安全性に加え、災害時の強度・耐久性を重視する。

● 市の社会福祉課・長寿あんしん課などと連携して、迅速な状況確認・情報伝達・支援を可能にする。

● 避難所・防災備蓄倉庫の〔内容・数〕を充実させる。
● 河川を災害時に生活用水として利用できるよう整備する。

今回は「防災」に関する政策を例に出しましたが、和光市には今、様々な地域での暮らしを経験した人が移り住んできています。「長年和光に住んでいる人」に加えて、その人たちの「経験やアイデア」も共に持ち寄ることが出来たら、和光の政治はもっと身近に、もっと良いものになる、と私は考えております。

「新しい和光をつくる会」会員（無料）ボランティア募集!!

例えば・・・

- ・一緒にご近所にチラシを配ってくれる方
- ・切手、文房具 等をカンパしてくれる方
- ・ご近所、知人に私たちの活動を紹介してくれる方 等

その他にも「ちょっと話を聞いてみたい」という方のご連絡もお待ちしております。私たちの政治に対する思いをお話しします。そして「あなた」の市政へのご要望も聞かせてください。

お問い合わせ・発行元：

「井上わたると新しい和光をつくる会」

◆井上 航(わたる)のプロフィール◆

昭和54年 10月1日東京生まれ
 平成14年 立命館大学 法学部 環境生活法コース 卒業
 平成14年 株式会社パソナ 入社
 平成16年 独立。株式会社メディカルケアーズ・ジャパン 設立・入社
 平成17年 M&Aにより 株式会社シグマスタッフ へ。
 上記3社とも、高齢者施設へ介護職員・看護師を派遣する仕事です。仕事を通して、福祉や介護について学びました。スタッフがいない場合は、自分も介護の現場に入っていました。

現在 「井上わたると新しい和光をつくる会」代表。日々奮闘中！
 「防災」のほかに、「介護」「教育」「環境問題」に力を入れて取り組んでまいります。

趣味：演劇（ボランティア劇団 設立経験有り）
 格闘技（市内格闘技ジム所属）

資格：ホームヘルパー2級、
 人材派遣業 責任者資格（派遣元&紹介元）

特技：卓球（市内卓球サークル所属）